



さらなる飛躍へ

**2018年3月期  
第2四半期決算説明会**

2017年11月6日



**大陽日酸**  
The Gas Professionals

## 目次

---

- **2018年3月期 第2四半期業績**
  - 第2四半期業績概要
  - セグメント別業績
- **2018年3月期 通期業績予想**
  - 通期業績予想
  - セグメント別業績予想
- **中期経営計画達成に向けた取組み**
  - Total Electronics
- **事業紹介**
  - サーモス事業の海外展開

# 2018年3月期 第2四半期業績



# 業績概要

(単位：億円)

	17/3月期 2Q実績(IFRS) 利益率	18/3月期 2Q実績(IFRS) 利益率	前年同期比 増減率	18/3月期 2Q公表値(IFRS) 利益率
<b>売上収益</b>	2,687	3,057	+370 +13.7%	3,000
<b>コア営業利益</b>	257 9.6%	293 9.6%	+36 +13.8%	268 8.9%
非経常損益	1	2	+1	5
<b>営業利益</b>	259 9.7%	296 9.7%	+37 +14.1%	273 9.1%
<b>親会社の所有者に 帰属する当期利益</b>	164 6.1%	176 5.7%	+12 +7.3%	159 5.3%

● 為替換算の影響 (USD→円) : 前期2Qレート 105.39円 当期2Qレート 111.29円

→影響額 売上収益+57億円、コア営業利益+4億円

# セグメント別業績

(単位：億円)

		17/3月期 2Q実績 (IFRS)	18/3月期 2Q実績 (IFRS)	前年同期比 増減率	要因
国内ガス	売上収益	1,524	<b>1,574</b>	<b>+50</b> +3.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エレクトロニクス関連：電子材料ガスが好調</li> <li>▶ 炭酸ガスの価格改定</li> <li>▶ L Pガス：輸入価格上昇の影響で販売価格が上昇</li> </ul>
	セグメント利益	141	<b>143</b>	<b>+2</b> +1.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 原油価格上昇によりコスト上昇</li> <li>▶ エレクトロニクス関連：電子材料ガスが好調</li> </ul>
米国ガス	売上収益	651	<b>843</b>	<b>+192</b> +29.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Air Liquideから買収した事業による寄与 +132億円</li> <li>▶ 炭酸ガス・ドライアイスが好調</li> <li>▶ 為替換算の影響 +37億円</li> </ul>
	セグメント利益	47	<b>64</b>	<b>+17</b> +35.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Air Liquideから買収した事業による寄与 +16億円</li> <li>▶ 炭酸ガス・ドライアイスの増収が増益に貢献</li> <li>▶ 為替換算の影響 +3億円</li> </ul>
アジア・ オセアニアガス	売上収益	377	<b>495</b>	<b>+118</b> +31.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Supagas社（豪州）買収による寄与 +54億円</li> <li>▶ シンガポール・マレーシア：オイル&amp;ガス向けハードグッズが軟調</li> <li>▶ 台湾：ガス及び機器・工事の販売が好調</li> <li>▶ 為替換算の影響 +20億円</li> </ul>
	セグメント利益	25	<b>48</b>	<b>+23</b> +87.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Supagas社（豪州）買収による寄与 +10億円</li> <li>▶ シンガポール・マレーシア：減収に伴う減益</li> <li>▶ 台湾：ガス及び機器・工事の販売が好調</li> <li>▶ 為替換算の影響 +2億円</li> </ul>
サーモス他	売上収益	134	<b>143</b>	<b>+9</b> +6.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国内：ケータイマグを中心に販売増</li> </ul>
	セグメント利益	50	<b>46</b>	<b>-4</b> -8.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国内：販売増により堅調</li> <li>▶ 海外：持分法適用のグループ会社の業績は軟調</li> </ul>

※ セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出した「コア営業利益」で表示しております。

# 2018年3月期 通期業績予想



## 2018年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	17/3月期 通期実績(IFRS) 利益率	18/3月期 通期予想(IFRS) 利益率	前年同期比 増減率
売上収益	5,815	6,200	+385 +6.6%
コア営業利益	547 9.4%	565 9.1%	+18 +3.2%
非経常損益	-10	5	15
営業利益	536 9.2%	570 9.2%	+34 +6.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	347 6.0%	345 5.6%	-2 -0.7%

# セグメント別業績予想

(単位：億円)

		17/3月期 通期実績(IFRS)	18/3月期 通期予想(IFRS) 11/1発表	前年同期比 増減率	18/3月期 通期予想(IFRS) 5/10発表
国内ガス	売上収益	3,214	<b>3,380</b>	<b>+166</b> +5.2%	3,380
	セグメント 利益	294	<b>287</b>	<b>-7</b> -2.5%	285
米国ガス	売上収益	1,472	<b>1,640</b>	<b>+168</b> +11.4%	1,660
	セグメント 利益	120	<b>135</b>	<b>+15</b> +11.8%	138
アジア・ オセアニアガス	売上収益	858	<b>910</b>	<b>+52</b> +6.0%	890
	セグメント 利益	51	<b>78</b>	<b>+27</b> +51.0%	72
サーモス他	売上収益	270	<b>270</b>	<b>0</b> -0.1%	270
	セグメント 利益	100	<b>90</b>	<b>-10</b> -10.2%	90

※ セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出した「コア営業利益」で表示しております。



# 中期経営計画達成に向けた 取組み

- Total Electronics



# 中期経営計画「Ortus Stage 2」 戦略方針

## 基本方針

### 基盤強化

保安・品質と  
コンプライアンスに  
関する取り組み強化

R&D戦略の推進

コーポレート機能  
の強化

### 成長戦略

国内事業の拡大

グローバル化の推進

## 重点戦略

### 1. 構造改革

連携強化による  
グループカの最大化



- 販売部門の連携強化
- エンジニアリング部門の一元化
- 生産と物流部門の一体運営
- シェアードサービスの推進

### 2. イノベーション

外部リソース、IoT活用による  
イノベーション推進

- 開発のイノベーション
- エンジニアリングのイノベーション
- 販売のイノベーション
- 生産・物流のイノベーション

### 3. グローバリゼーション

ガバナンス強化

- 国際事業の機能強化
- 地域統括会社の機能強化

成長戦略



- 事業領域拡大
- Total Electronics

### 4. M&A

M&Aを通じて当社の持続的  
成長と成長加速を図る

- 事業エリアの拡大と事業密度の向上
- 新たな商材・技術・サプライチェーンの獲得
- メディカル事業の拡大

# Total Electronics

- 海外半導体メーカーのグローバル化や技術・市場の変化に、より機動的に対応することを目的として、グループ統一戦略推進機能を設置。

## 戦略顧客の動向

- 半導体メーカーでは生産体制のグローバル化が進み、市場が急激に拡大している。

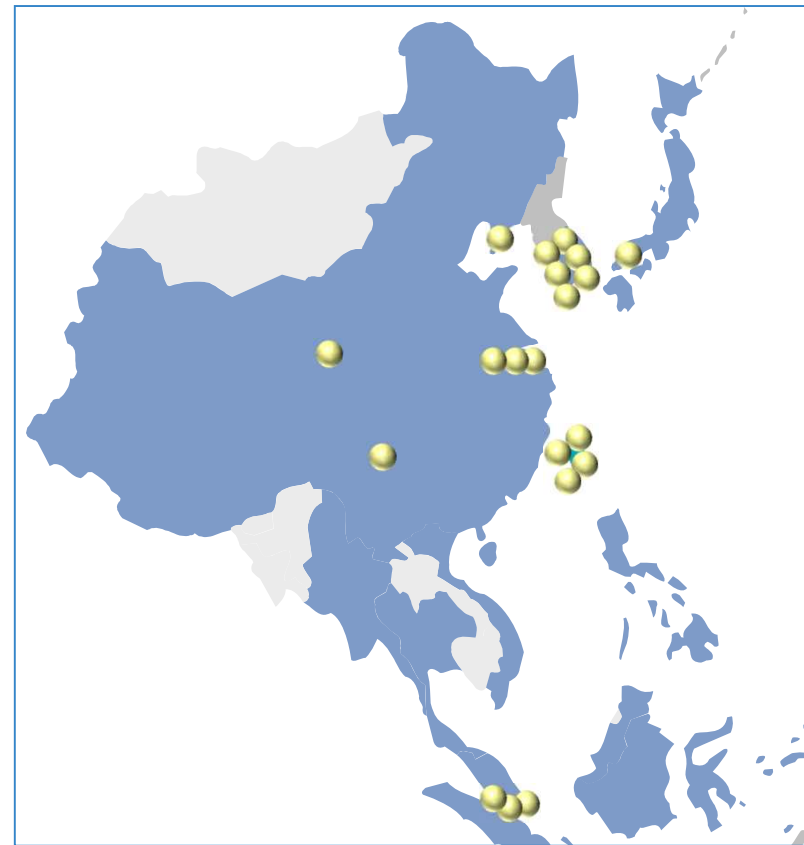
## 当社の現状

- 当社のエレクトロニクス事業は各地に事業・リソースが分散し、個社にて対応している。
- 電子材料ガスはグローバル製品であり、産業ガス事業のグローバル化で構築されたネットワークを通じた成長が期待できる。

## グループ統一戦略推進機能の設置

- グループ統一戦略推進機能を設置することで、より高付加価値な製品・サービスを提供する。

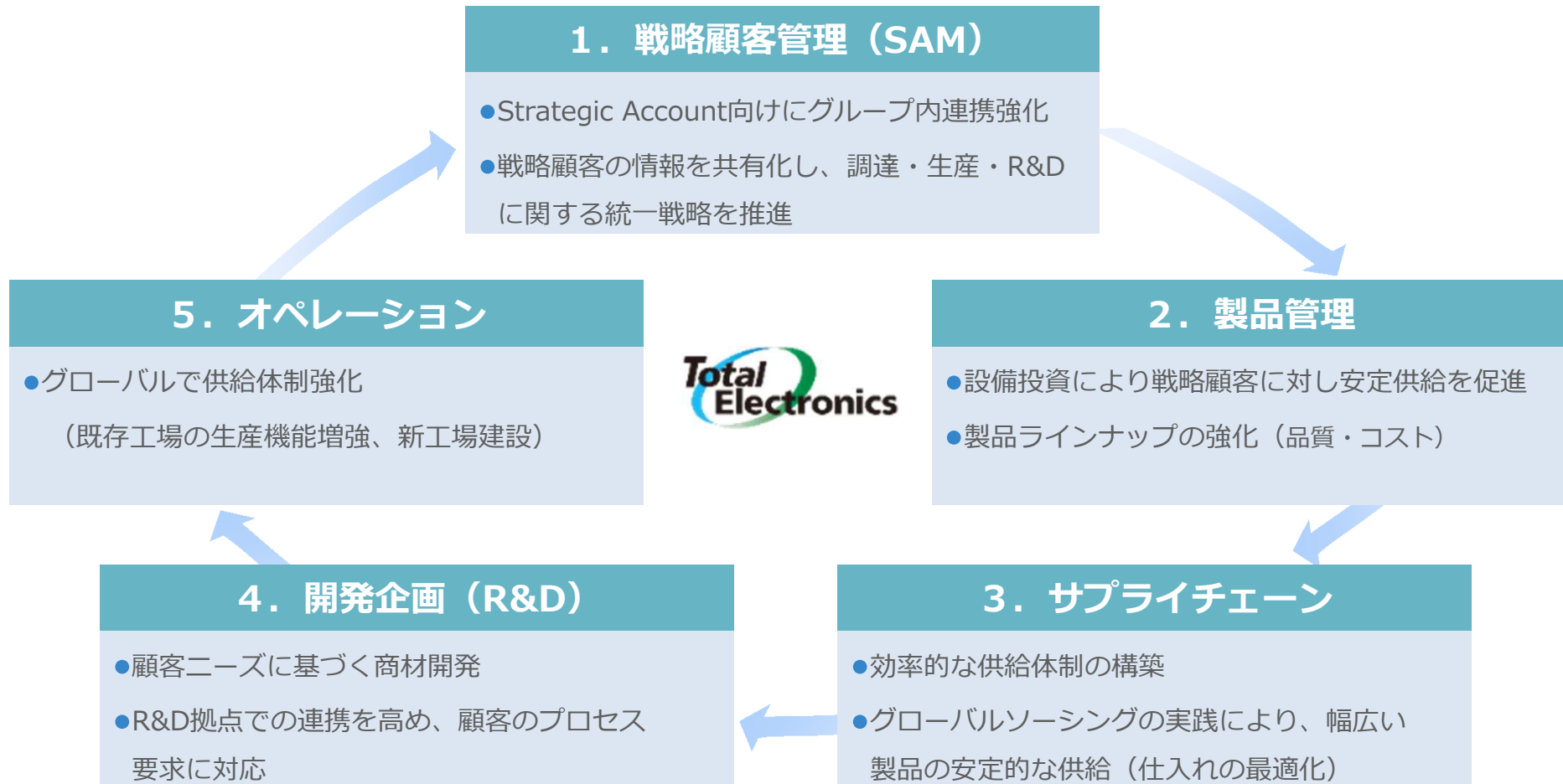
## 東アジアの当社戦略顧客の地理的位置



グローバルな半導体メーカーとは国境を跨いで取引がある

# Total Electronics

- ・半導体需要の最大市場となる中国の地域統括会社である大陽日酸（中国）投資有限公司の上海拠点にグループ統一戦略推進機能を設置。  
次の5機能を拡充し、アジア地区でのエレクトロニクスガス需要増加に対応。



# Total Electronics

- ・グローバルエレクトロニクス市場で要求される「電子材料ガスの開発」「品質安定化・コスト低減」「安定供給」で顧客満足度の更なる向上を図る。

## 開発企画 (R&D)

### R&D方針

#### Research

- 強みのあるエッチング系ガス (COS,CH3F等) のラインナップの強化
- 今後需要の伸びが見込まれる液体材料 (有機材料) に着目した研究

#### Development

- 容器処理、精製、分析の各技術の強化による品質安定化
- ネットワーク機能強化により入手した顧客要求に基づく技術開発の推進

## オペレーション

### 工場増設、新工場建設



#### JFP増設 (日本)

- 2017年4月実施
- COSの精製
- 投資額：2億円



#### MGPK増設 (韓国)

- 2018年1月商業生産開始予定
- B2H6,CH3Fの合成及び精製
- 投資額：45百万USD



#### 新工場建設 (中国)

- 2019年1月商業生産開始予定
- B2H6,CH3Fの合成及び精製  
SiH4,Si2H6の混合
- 投資額：30百万USD

\* 分子式の補足説明

COS: 硫化カルボニル、B2H6: ジボラン、CH3F: モノフルオロメタン、SiH4: シラン、Si2H6: ジシラン

# Total Electronics

- ・アジアを中心にエレクトロニクス事業を拡大し、グローバルエレクトロニクス市場のリーディングポジションの確立を目指す。

FY2017

FY2020

電子材料ガス売上高

470  
億円

16%

グローバル  
マーケットシェア  
(当社推定)

570  
億円

17%

- 中国、韓国での設備投資効果とR&Dによる材料開発により2020年以降は急成長を目指す

拡大する電子材料ガス市場での確固たるポジションの獲得

# 事業紹介

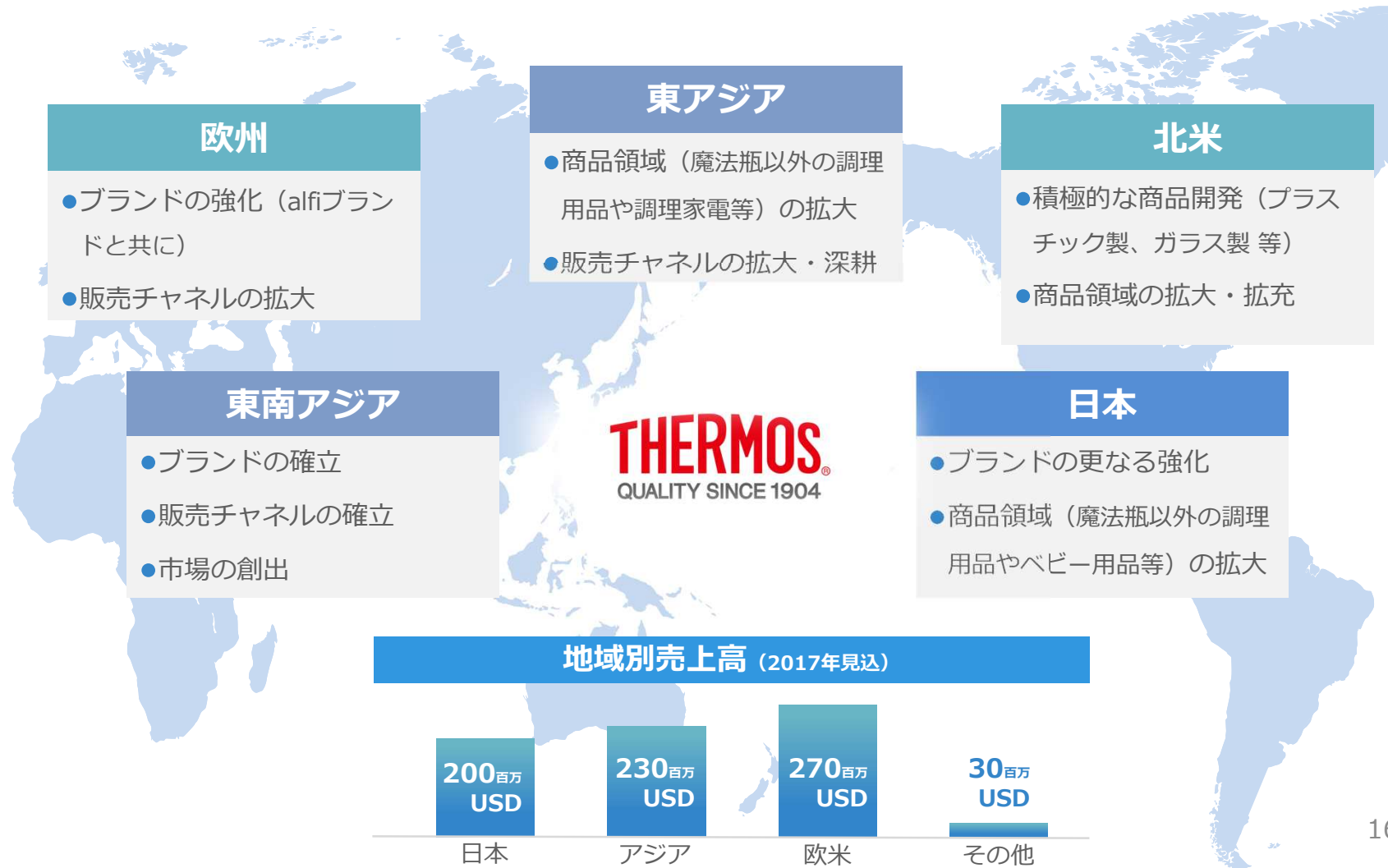
- サーモス事業の海外展開



Ortus Stage 2

# サーモス事業の海外展開

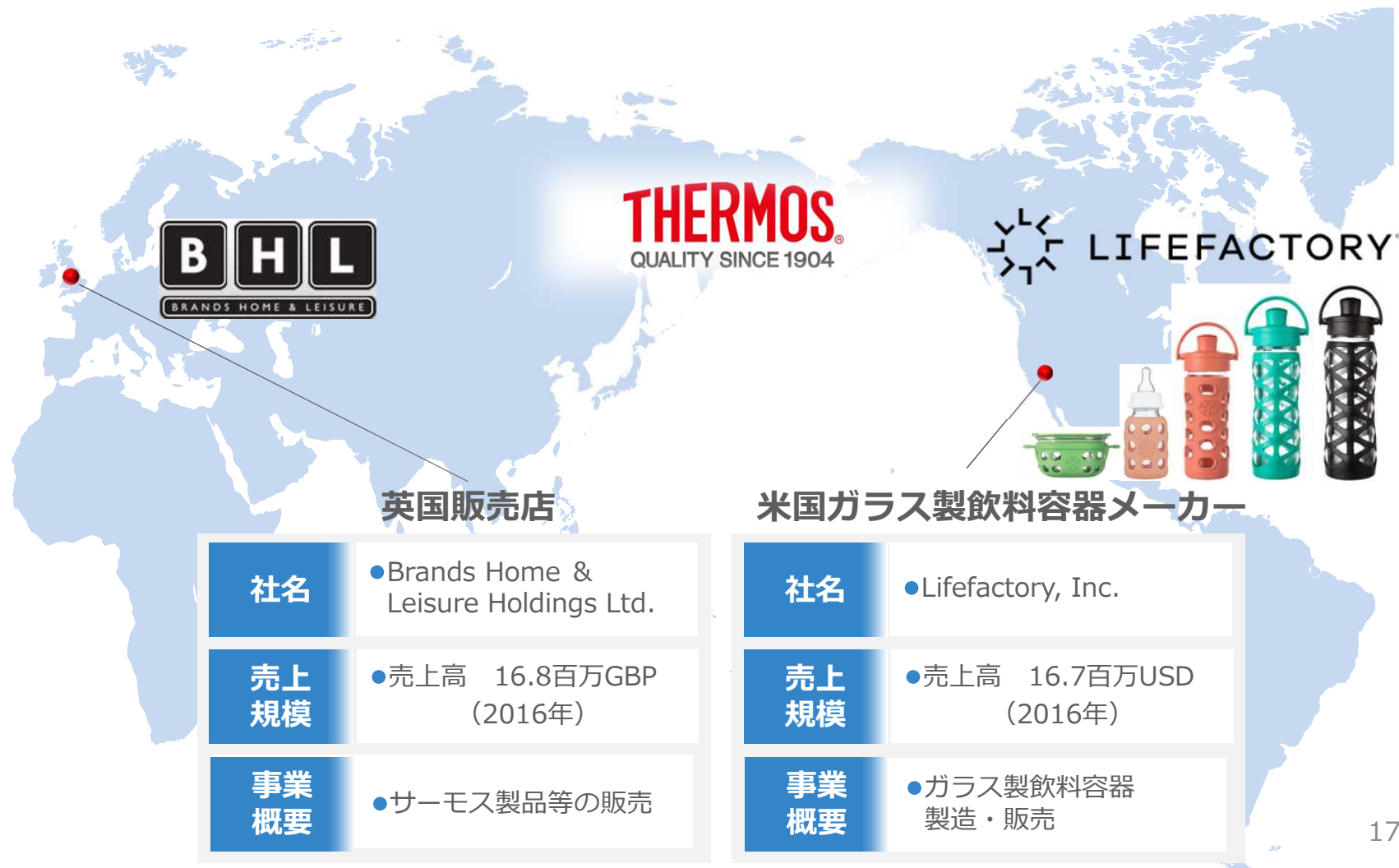
- ・グローバルにおける地域別の売上（販売数量）シェアの伸長を目指し、地域別戦略を通じて、サーモスのブランド価値を高める。



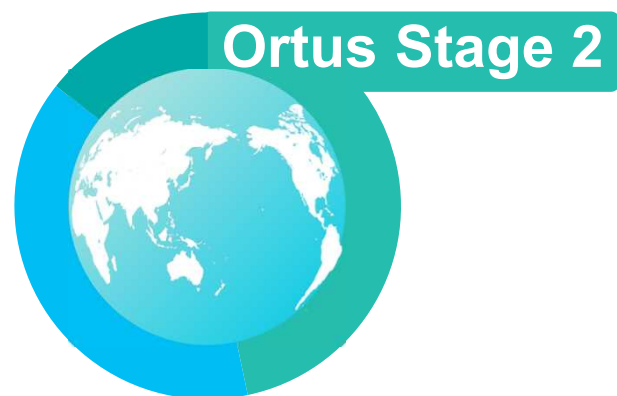


## サーモス事業の海外展開

- 既存ネットワークに販売チャネル、商品ラインナップを拡充するべく、英国販売店BHL社と米国ガラス製飲料容器メーカーLifefactory社を買収。



ご清聴ありがとうございました。



## 注意事項

---

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には、将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限られません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願い致します。